

猿沢地区振興会だより

発行元
〒029-0431
大東町猿沢字板倉 57-1
(猿沢市民センター内)
猿沢地区振興会

猿沢まちづくり講演会

7月19日(日)、猿沢伝承交流館を会場に、まちづくり講演会を開催し、関係者約30人が参加しました。新型コロナウイルスの感染防止のため参加対象者を制限し、間隔を広く取って実施しました。

講師に、いわてNPO ONLINE Tサポート事務局長の菊池広人さん(北上市)をお招きし「大切なものを残すためには」と題して、講演を行いました。

菊池さんは講演の中で「まちづくり計画は20年先を想像し、10年先を予測し、5年先に向けて判断することが求められる」と話されました。

それを受け猿沢に、20年後に残したい物を各々紙に書き出し、皆で共有したのでご紹介します。

- ・ 助け合いの心
- ・ 自然
- ・ 猿沢川
- ・ 田園の風景
- ・ お祭り
- ・ 権現水
- ・ 猿沢小学校
- ・ 伝統文化
- ・ 神楽
- ・ 挨拶
- ・ 蛍の生息
- 他

一番多かった意見が「助け合いの心」でした。皆さんの意見が20年後に一つでも多く残していけるよう、課題解決に向けて取り組んで行きたいと思えます。

第1回猿沢まちづくり計画(見直し)検討委員会

7月19日(日)、講演会終了後に第1回まちづくり計画(見直し)検討委員会を開催しました。

まちづくり計画(見直し)検討委員会は、振興会の理事及びまちづくり委員で構成され、策定から5年目を迎えた「猿沢まちづくり計画書」の見直しを行い、今後の5年間の指針とする「第2期猿沢まちづくり計画書」を策定します。

第1回目は、委嘱状が交付され、委員長に小野寺照夫さん(3区)副委員長は菅原光一さん(12区)が選出されました。その後、委員長、副委員長が中心となり、今後の進め方等について協議しました。

その主な取り組み内容や時期は、次のとおりです。

第2回(9月)部会：現状の評価と

分析、新たな課題の洗い出し。改善策や見直案の検討。

第3回(11月)部会：今後5年間で取り組むべき内容の検討や絞込み。具現化するための事業案や取り組み案の検討。

第4回(1月)部会：部会として取りまとめ。

第5回(2月)全体会：全体として取りまとめ。

また、委員一人一人の意見が反映されやすいように、作業部会を設置し、3部会に分けて作業を進めて行くことなども決定しました。

地域の皆様も猿沢のまちづくりについて、意見やアイデアがある場合は事務局や役員等に積極的に声を掛けて下さるようお願い致します。

猿沢の行政区別人口と世帯数
7月末現在

区	世帯数	男	女	合計	比較
1区	54	74	85	159	0
2区	47	49	51	100	0
3区	68	87	89	176	-2
4区	46	78	73	151	0
5区	28	41	51	92	0
6区	36	49	54	103	0
7区	37	56	44	100	1
8区	52	80	83	163	-2
9区	24	31	37	68	0
10区	52	67	69	136	0
11区	85	120	129	249	1
12区	37	53	45	98	0
13区	19	27	28	55	0
合計	585	812	838	1650	-2

地域活動の紹介

～10区・気ままの会～



7月16日(木)、10区・気ままの会のサロン活動に参加させていただきました。

当日は、一関東部地域包括支援センター地域支援推進員の佐藤恵美さんをお招きし、認知症予防の勉強会を行いました。

勉強会では本題に入る前に、皆で口腔トレーニングを行い、早口言葉や「線路はつづくよどこまでも」の歌をパタカラに変えて、パターカラパターカラ パップパップパップと元気に歌い楽しみました。

本題の認知症予防は、脳を使う生活をし、次のカキクケコを実行するといそうです。

カ 感動 を一日10回しましょう

キ 興味 新しいことに挑戦しましょう

ク エ夫 ひと手間かけてみましょう

ケ 計画 旅行など計画しましょう

コ 交友 友達と楽しいおしゃべりをしましょう

また、日記をつけることが脳には一番いいと話しておられました。1日を振り返る事で物事を思い出す訓練になるからだそうです。サロンに参加された皆さんは、楽しみながらも真剣に聞き入り、明日から一つでも実践してみようと話していました。



見学にきた大東中学生
(写真右から⇒)
及川日菜さん(1区)
伊東菜菜さん(1区)
菊地怜奈さん(3区)



大東中学校3年生 猿沢羊羹を見学

大東中学校の3年生3名(猿沢在住)が7月8日(水)と7月30日(木)の2回にわたり、総合的な学習で猿沢羊羹を見学に来ました。

1回目は、羊羹を作り始めた経緯や、大変だったこと、嬉しかったことなど、羊羹への思いを生徒たちに伝えました。

2回目は、実際に羊羹作りを体験しまし

た。「練る作業は、水っぽい状態なのが時間が経つにつれ重くなり、焦げないように、かき混ぜる作業が大変だった」と話していました。総合的な学習で学んだことは、秋の萩香祭で発表される予定です。ぜひお楽しみに♪

この作業が一番大変♡



Thank you